

2023年の気象条件では 「会津のかおり」を9月中旬に播種することで 11月上旬の収穫が可能であった（富岡町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 播種時期後ろ倒しによる秋ソバの作期拡大の実証（富岡町）

担当者 佐藤越萌、松岡宏明

I 新技術の解説

1 要旨

富岡町では秋ソバの作付面積が拡大しているが、水稻と収穫作業が重なり、刈り遅れによる収量・品質の低下が懸念される。そこで、ソバの播種時期を遅くすることで、水稻の収穫作業と重ならない11月収穫が可能か栽培実証した結果、2023年の気象条件では播種時期を9月中旬にすることで11月上旬の収穫が可能であった。

- (1) 2023年は平年に比べて気温が高く、日照時間が多く、降水量が少なく推移した（図1）。
- (2) 施肥は $N-P_2O_5-K_2O=2.0-5.0-3.0$ （成分 kg/10a）、苦土石灰 30kg/10a、塩化カリ 20kg/10a とした。
- (3) 「会津のかおり」を9月上旬と中旬に播種したところ、開花日数及び登熟日数に差は見られなかった。9月中旬播種の成熟期は11月上旬であった（表1）。
- (4) 9月中旬播種では倒伏はほぼ確認されなかった（表2）。
- (5) 子実重は 110kg/10a 以上、容積重は一等の最低限度（640g/L）以上となった（表3）。

2 期待される効果

- (1) 水稻とソバの複合経営体の規模拡大に繋がる。

3 活用上の留意点

- (1) 2023年の気象条件での結果である。
- (2) 排水不良ほ場では十分に排水対策を行う。
- (3) 秋ソバの播種は降霜初日の70～80日前までとされており、小名浜（アメダス）の降霜初日の平年値が11月19日（参考値）であることから、平年の気象条件であれば、富岡町における播種は9月上旬までに終える必要がある。

II 具体的データ等

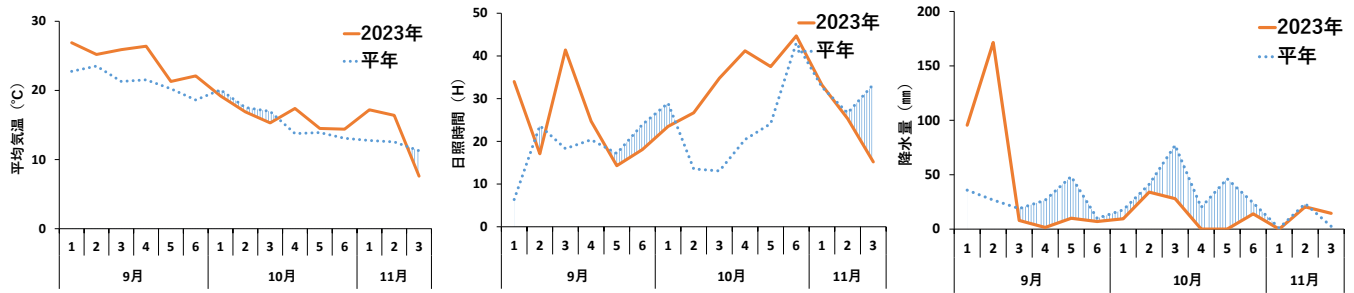


図1 2023年半旬別気象図
(平均気温及び日照時間は浪江アメダス、降水量は富岡アメダス、平年値は2018~2022年)

表1 播種時期別の生育ステージ

区	出芽数 (本/m ²)	播種日 (月日)	出芽期 ¹⁾ (月日)	開花期 ²⁾ (月日)	成熟期 ³⁾ (月日)	開花日数 ⁴⁾ (日)	登熟日数 ⁵⁾ (日)
9月上旬播種	113.3	9月1日	9月6日	9月25日	10月31日	19日	36日
9月中旬播種	97.8	9月11日	9月16日	10月4日	11月9日	18日	36日

- 1) 出芽期 全体の40~50%が出芽した日
 2) 開花期 全体の40~50%が開花した日
 3) 成熟期 子実の70~80%が成熟した日
 4) 開花日数 出芽期~開花期までの日数
 5) 登熟日数 開花期~成熟期までの日数

表2 播種時期別の生育

区	収穫日 (月日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	主茎 (cm)	倒伏程度 ¹⁾
9月上旬播種	10月31日	64.3	9.7	2.8	0.5	少~中
9月中旬播種	11月9日	54.2	8.7	2.5	0.5	微~少

倒伏程度 主茎の傾斜角度について、
 60°以上: 4、40~59°: 3、20~39°: 2、10~19°: 1、9°以下: 0
 とし、各指数にそれぞれの面積率をかけた総和を求め、以下の指数にあてはめて判定した。
 0.0: 無、0.1~0.5: 微、0.6~1.0: 小、1.1~2.0: 中、2.1~3.0: 多、3.1~4.0: 甚

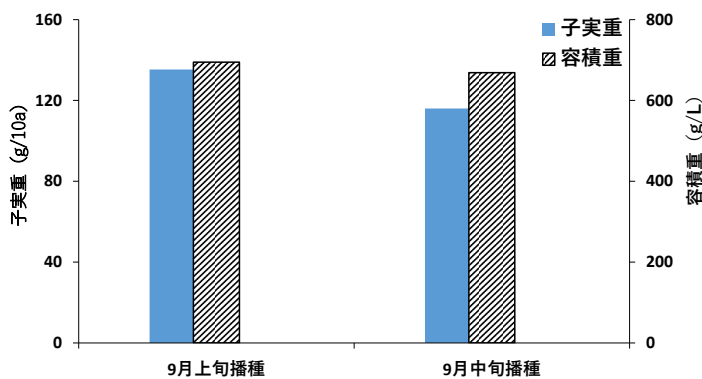


図2 播種時期別の子実重及び容積重

III その他

1 執筆者 佐藤越萌

2 実施期間 令和5年度

3 主な参考文献・資料 ソバ「会津のかおり」の栽培法

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/334602.pdf>)